

目指す学校像	保護者・地域と絆を深め、親しまれ、信頼される学校
--------	--------------------------

重点目標	1 確かな学力・体力の向上、自立した行動ができる児童の育成。 2 安全で清潔な環境の整備による安全・安心な学校づくり。 3 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進及び家庭並びに地域との連携強化。 4 教職員の指導力向上と働き方改革の意識の醸成。
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標			年度評価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語・算数ともに全国、市平均と比べて良好な結果である。 ○学校評価(児童アンケート)において「学習が楽しい」の肯定的な回答をした児童の割合は86%であった。 (課題) ○学校評価(児童アンケート)の結果「授業では、よく話し合い活動をして、友達と意見交換をしています。」の肯定的な回答が91%に対して「授業では、自分の考えを発信、発表をしています。」が68%で、差が見られた。全体の前でも自信をもって考えを伝えられる力の育成が課題である。 ○新体力テストの結果では、50m走、ボール投げ、20mシャトルラン、反復横跳び、上体起こし、握力において、市の平均を下回っている。 ○学校評価「外で元気に遊んだり、進んで運動したりしています。」の項目の肯定的な回答が、78%である。	・自ら学び、考え、判断し、よりよく問題を解決できる子の育成	① 算数科の授業を中心に一人一台端末を活用した個別最適な学びの場面、友達と対話し、自分の考えを発表する場面等を意図的に取り入れた授業実践を行っていく。 ② 算数科の授業を中心に前時までの学習の振り返りを行い、児童自ら既習事項を想起し、これを生かして新たな課題に主体的に取り組めるようにする。	① 学校評価、児童アンケートの結果「授業では、自分の考えを発信、発表をしています。」の肯定的な回答70%以上を達成できたか。 ② 学校評価、教職員アンケートの「ICTを授業に活用」に関する項目の肯定的な評価が95%以上(前年度93%)保護者アンケート90%以上(前年度89%)を達成できたか。				
			・豊かなかわり合いをはぐくむために、特色ある教育活動(浦和別所小のめざす子ども像「ベっしょのよい子」)の実践	① 体育科を中心に授業の中で、ペアや小グループで、友達と話し合い、関わり合いながら課題を達成する場面を取り入れる。 ② 体育科の授業では、どの学年、学級でも一定の運動量があり、技能も高められるような授業モデルを器械運動以外の領域でも確立し、実践していく。 ③ 休み時間等を使っての運動キャンペーンを継続して行い、運動習慣が身に付けられるようはたらきかけていく。その内容については、家庭にも周知していく。	① 学校評価、児童アンケートの結果「授業では、よく話し合い活動をして、友達と意見交換をしています」の肯定的な回答94%以上を達成できたか。 ② 新体力テストの結果、市の平均を上回っている項目を2つ以上増やせたか。 ③ 学校評価、児童アンケートの結果「外で元気に遊んだり、進んで運動したりしています。」の項目の肯定的な回答が80%以上達成できたか。			
2	(現状) ○全国学力・学習状況調査及び市学習状況調査の質問紙調査の結果分析から、「学校に行くのが楽しい」に、肯定的に回答した子どもの割合が、市平均よりも高い。 ○学校の安心に係る学校評価アンケート項目(子どもは楽しく学校生活を送っている、学校ははじめのない学校づくりに真摯に取り組んでいる、学校は施設・設備の管理が適切に行われている)、保護者の肯定的な評価は、それぞれ95%、93%、84%となっている。 (課題) ○心と生活のアンケート結果を基に、昨年度の学期ごとにおいて、担任と教育相談を実施した子どもの割合は17.6%で、悩みや不安を抱えている子どもが一定数いる。 ○教職員による施設設備の安全点検を確実に行うだけでなく、児童が自ら危険を予測したり、回避したりする力をはぐくむことが課題である。	・児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談に向けた校内体制の充実	① 毎月1回の教育支援・相談に係る校内委員会を実施し、その中で出た必要事項については、学年会等で資料の共有を図り、全教職員で共通理解・共通行動をとれるようにする。 ② 希望する保護者、児童が担任と面談できる「さわやかデー」を毎月1回、第1金曜日に設定する。	① 学校評価、教職員アンケートにおいて、「児童理解、きめ細やかな指導」に関する「そう思う」の回答42%(前年度39%)を達成できたか。 ② 学校評価、保護者アンケートにおいて、「児童理解、きめ細やかな指導」の肯定的な回答93%(前年度90%)以上を達成できたか。				
			・安全な生活の実現に主体的に取り組む児童の育成、環境整備	① 保健室の来室記録からけがマップを作成し、生徒指導部会等で校内におけるケガの発生場所、件数、原因などを共有できるようにする ② 児童会の児童が中心となり「浦和別所小の登下校のきまり」、「いじめ防止」について児童自ら考え、話し合い、決定、実行する。	① 学校評価、保護者アンケート「安全面での配慮がしっかりとされている。」と肯定的な回答93%以上を維持させることができたか。 ② 児童会の児童を中心とした児童主体によるルールを作成し、実行できたか。			
3	(現状) ○昨年度、学校運営協議会において、目指す児童の姿について共有するとともに、「学校・家庭・地域が連携して取り組む『安全な登下校』」について熟議を行い、保護者に向けて協力依頼の手紙を配付した。 (課題) ○今年度は、学校運営協議会で共有した目指す児童の姿を、家庭・地域等に広め「学校・家庭・地域が連携してさらに、取り組めることを検討し、実行していく必要がある。	・目指す児童像について学校・家庭・地域での共有と連携	① 年に3回の学校運営協議会を開催し、熟議で決定したことを保護者や地域に発信し、実際に取り組むH Pに教育活動の様子を掲載し、原則1日に1回更新し、発信する。 ②	① 学校運営協議会で決定したことを保護者や地域に発信し、実際に取り組むことができたか。 ② H Pに教育活動の様子を原則1日に1回更新し、発信できたか。				
			・学校行事の公開、地域主催の行事の実現	① 授業公開や行事について、内容を精選しながらも公開し、児童や職員の様子をよく見てもらう。 ② P T Aや育成会主催の行事を学校も連携して取り組み、児童の体験活動へとつなげていく。	① 学校評価、保護者アンケートで「地域とともに開かれた学校教育を展開している」と回答する割合が95%以上(前年度93%)を達成できたか。 ② P T Aや育成会主催の行事を学校も連携して開催できたか。			
4	(現状) ○第5・6学年において教科担任制を導入し、担当する教科に限って教材研究することで、専門的に児童が学習に取り組めるようになっていく。 ○今年度は、学校課題研修において、学びのポイント(じ・し・ゃ・く)の視点に基づく授業改善について研修を進めていく。 (課題) ○各教科においてICTを活用しているが、児童にとってより学習効果の高まる活用について検討していく必要がある。 ○学校課題研究における授業実践を重ね、一人ひとりの授業スキル向上を図っていく必要がある	・目指す学校像の実現に向けて、教職員一人ひとりが力を発揮できる体制づくり	① 全ての教職員がオンライン授業やスタディサプリ等を活用した個別最適な学びに対応できるよう、教務主任を中心に環境整備を進め、実用化させる。 ② どの教員も同じようにICTを使えるよう、エバンジェリストやICT支援員を講師に、研修を定期的(学期に1回以上)に行う。 ③ 教職員一人ひとりが、授業実践を行い、まとめ、教職員同士で共有する機会を設ける。	① 学校評価、児童の「学習が楽しいです」に関する肯定的な評価が95%以上(前年度93%)を達成できたか。 ② 学校評価、教職員の「ICTを授業に活用」に関する項目の肯定的な評価が95%以上(前年度93%)達成できたか。 ③ 教職員一人ひとりが、授業実践を行い、まとめ、教職員同士で共有する機会を設けられたか。				